

ORって？

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/whatisor.html>

- ・ オペレーションズ・リサーチという言葉をご存知ですか？
- ・ あなたはうまい手をつくり出せますか？
何か新しいことをしなければならない時、あるいは現在実行している事柄を改善しようとする時、よりうまい計画を立てたり、立てた計画が円滑に実施されるようなうまい管理を行うことが望まれます。
- ・ おそらくはいろいろな案を並べみて、それらの案を評価して一番よさそうな案を選択することが行われるでしょう。しかし、実際には「いろいろな案」といってもすべてを並べ立てることが難しく、どこかに落ちがあったり、「評価して」といっても、案を実施してみないことには結果の予測が立たないことも多いでしょう。
- ・ ORはこのような問題を科学的、つまり「筋のおった方法」を用いて解決するための「問題解決学」であります。世の中にはありとあらゆる問題が次々と沸いてきます。問題とは「何か困っている」ことを指します。そのような新しい問題に挑戦するのがORです。

- ・ うまい手を考えるための定石をご存知ですか？
どんな問題でも解決できるというオールマイティな方法などあるわけがありません。しかし、ORには過去にたくさんの問題を解決してきた歴史があります。これらはORの財産です。さらに世界中のORの研究者や実務家は日々新しい問題を掘り出したり、その解決方法を研究したり発表したりしています。このように「やり方を考える」人たちの情報交換や発表の場が「OR学会」というソサイエティなのです。
- ・ ORの定石、これをOR手法といますが、OR手法は「よりうまい手を考え出すための方法」を教えてください。
- ・ ORは応用分野がきわめて広い横糸的な性格をもっています。テレビといえば電気工学、自動車といえば機械工学というように伝統的な工学は縦糸的な性格を持った学問分野といえます。
- ・ ORは問題の分野を選ばないという横糸的な性格を持っています。問題に取り組む場合、どのような分野でも、どのようにしてやるかを決めるための分析と意思決定をしなければならないからです。大企業でも中小企業でも、商店でも農家でも、金融でも行政でも、生産工場でもサービス業でも、何をやるにしても「分析と意思決定」を行っているわけです。

- ・ OR学会の会員には大学の学部でいえば、経済学・経営学・理学・工学・農学・医学・芸術などありとあらゆる分野にたずさわっている会員から構成されています。このようなことは他学会にはなかなかありません。理系、文系も問わないのです。
- ・ 誰もがPCを使う世の中になりました。コンピュータが自由に応用できるようになることは横糸を張ることにつながります。さらにOR的な発想が出来るようになると、賢くて頑健な横糸となることでしょう。これを”OR inside”と申します。
- ・ 将来の日本を背負う若者にも声を大にして言いたいです。「面白くて役に立つOR」を勉強してみないかと。横糸人間と縦糸人間がバランスよく存在する社会にしたいと思いませんか。